



横島小学校だより No.1 「考動」

※「自分で考えて行動する」意の造語です。

【令和2年度がスタートしました】

玉名市では、中学校区ごとに、小中一貫教育が進められています。共通実践事項を定めたり、研修を一緒に行い授業研究をしたりして、義務教育9年間を見越して、子どもたちを育てているところです。その中で、有明中校区の「共通学校教育目標」とめざす児童像も定められています。その目標を今年度変更しました。

【有明中校区学校教育目標】

「ふるさとを愛し、未来の創り手となる児童・生徒の育成」

【目指す児童像】

- 明るく思いやりのある児童・生徒
- 理想を持ち、学び合う児童・生徒
- あきらめず努力する児童・生徒
- 健康な心と体を育む児童・生徒

そして、この児童像に育てたい力の3つを関連づけて取り組みます。

- 1 「**共感力**」：思いやりと関連
- 2 「**考動力**」：学び合うと関連
- 3 「**やり抜く力**」：あきらめず努力と関連

それを受けて、今年度のスタートである始業式では、「3つの育てたい力」についてお話をしました。昨年度も話しましたが、そのお話を紹介します。

紹介している図は、現在、大リーグに行っている大谷翔平選手が、高校1年生のとき、自分で考えた目標達成シートです。「マンダラチャート」といいます。大谷選手は、2年後のドラフト会議で、8球団から1位指名を受けるということを目標として設定しています。小さい頃からの夢です。

その夢の達成のために自分ができるようになることを8つ考えました。

まず、大谷選手の代名詞でもある160km/hでは、体幹の強化等、ボールのキレでは、リストを強化等のように具体的に

目標を立てて取り組んでいっています。

★大谷翔平選手が高校1年生の時に立てた目標達成表									
体のケア	サブメニューを飲む	FSQ 90Kg	インステップ改善	体幹強化	軸をぶらさない	角度をつける	上からボールをたたく	リストを強化	
柔軟性	体づくり	RSQ 130Kg	リリースポイントの安定	コントロール	不安をなくす	力まない	キレ	下半身主導	
スタミナ	可動域	食事夜7杯朝3杯	下肢の強化	体を開かない	メンタルをコントロール	ボールを前でリリース	回転数アップ	可動域	
目標目的を持つ	一喜一憂しない	頭は冷静に心は熱く	体づくり	コントロール	キレ	軸で回る	下肢の強化	体重増加	
ピンチに強い	メンタル	雰囲気は流されない	メンタル	ドラ1 8球団	スピード 160Km	体幹強化	スピード 160Km	肩周りの強化	
波を作らない	勝利への執念	仲間を思いやる心	人間性	運	変化球	可動域	ライナーボール	ピッチングを増やす	
感性	愛される人間	計画性	あいさつ	ゴミ拾い	部屋ぞうじ	カウントボールを増やす	フォーク完成	スライダークレ	
思いやり	人間性	感謝	道具を大切に使う	運	審判さんへの感謝	運く落差のあるカーブ	変化球	左打者への決め球	
礼儀	信頼される人間	継続力	プラス思考	応援される人間になる	本を読む	ストレートと同じフォーム	ストライクからボールへ	奥行きをイメージ	

(注) FSQ、RSQは筋トレ用のマシン(出所)スポーツニッポン

ここで、校長先生が素晴らしいと思ったのは、人間性と運についても考えていることです。思いやり、礼儀、感謝、愛される人間を挙げています。自分で運を呼び込むために挨拶、ゴミ拾い、道具を大切に、審判さんへの態度、本を読むなどを考えているのですね。これは本校で育てたい力として設定している「共感力」につながる力です。

次に大谷選手が、このチャートを考えていく中で高めているのが、「考動力」なのです。自分の良さや課題に気づき、強みを伸ばす練習を考えたり、弱みを克服する練習を考えたり工夫することで、考動力が身についていくのです。

大谷選手は、この計画を試行錯誤しながらやり遂げます。そして、自分はやればできるんだという強い自信を身につけます。この自信こそが「やり抜く力」なのです。

みんなも、教室に帰って、学校生活での目標を考えるとと思います。その時に、大谷選手のことを参考にしてほしいと思います。

そして、その実現のために毎日の生活で意識して取り組んでいってください。

※ホームページもご覧ください。できるだけ、リアルタイムで情報を発信していきます。